



# 学校だより

1月号

～豊かで調和のとれた子の育成～

たくましく生きる人 なかよく生きる人

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tana/>


みのたなくん

## 田奈小学校創立150周年を迎える年が明けました！

校長 大原 敦子



あけましておめでとうございます。すっきりと澄み渡る空にくっきりと見えるダイヤモンド富士など、各地で美しい初日の出が見られた2023年、令和5年のスタート。比較的暖かな年明けでしたが、1月7日には横浜で初雪が観測されたとのこと。また、朝の冷え込みもやはり厳しいですね。

10年ほど前から正月2日3日は、テレビの前で箱根駅伝を応援するのが私の正月の過ごし方となっています。今年は3年ぶりに沿道の応援も戻り、映像からも活気が感じられました。毎年ドラマを感じる箱根駅伝、今年も様々なドラマがありました。箱根駅伝総合優勝をし、大学駅伝三冠を達成した駒澤大学。駅伝後勇退を発表した大八木監督の次のような話がとても心に残りました。

長年監督をしてきたが、数年前から指導方法を変えたこと。対話を大切に、生徒の話をじっくりと聞き、そして生徒が納得するまで説明することを心掛けたこと。また、練習メニューをいくつか準備し、生徒に選ばれるようにしたこと。選手一人ひとりの個性に合った声掛けを考えていること。厳しい言葉をかけることで「監督を見返してやる」と奮起する選手もいる一方、気持ちのやさしい子にはそのような声掛けでは力が発揮できない、その子に合ったやさしい声掛けを意識して行っているということ。「昔は一方通行の指導でもやれた。今は一方通行では指導が成り立たない」と気づき、自分の指導方法を「今」の生徒に合ったものに柔軟に変更ができる監督だったからこそ、生徒・選手たちの主体性が育ち素晴らしい力を発揮できたのだと思いました。

1月3日の朝日新聞の記事の中で「聞いてもらう」ということが書かれた記事がありました。その中で「聞くとは、互いに心根を差し出すこと。最終的に自分を救うこと」「聞くためにはまず、聞いてもらう必要がある」という内容がありました。誰かに自分の話を聞いてもらう、理解してもらうことで、他者を思いやる余裕が生まれ、今度は自分が誰かの話をしっかりと聞くことができる。するとその相手は「話を聞いてもらえた」と感じ、どんどんプラスの連鎖が生まれる…そういう内容でした。

田奈小学校は今年2023年、令和5年創立150周年を迎えます。明治の学制ができた時から令和まで続く田奈小学校。歴史の重み、田奈小を愛してくださる地域の方々の思いを大切にしつつ、「今」を生きる子どもたちに合うように変化できる柔軟性も併せて磨いていきたいです。そして、自分の話を聞いてもらって自分も他の人の話をしっかりと聞くという対話を大切に、また自分で選び取って学ぶことができる、そのような子どもたちを育てていける田奈小学校を皆様と共につくっていきたい、改めてそう決意したお正月でした。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



5年生が一生懸命編んだわらそうり。ボランティアの皆様、ご指導をどうもありがとうございました。

### ○田奈小学校150周年記念事業実行委員会ホームページ

12月3日(土)には、150周年記念事業としてマラソン大会が行われました。実行委員会の皆様はじめ、様々な関係機関の方々やボランティアの方々からたくさんのご協力をいただき、子どもたちは青空のもと元気にマラソンを行うことができました。どうもありがとうございました。右のQRコードから実行委員会HPをご覧ください。

